

Ⅲ 特別会計、事業会計の決算はどうか。

1 特別会計

- 平成16年度の12特別会計の歳入決算総額は1,522億円、歳出決算総額は1,489億円でいずれの会計も黒字となり、収支差額33億円は平成17年度に全額繰り越しています。
- 特に中小企業近代化資金貸付金特別会計において、大きな収支差が発生していますが、これは中小企業の設備投資に対する貸付金の償還金などが平成16年度の貸付に必要な財源を上回ったことなどによるものです。

平成16年度特別会計の決算状況

(単位：千円)

会 計 名	歳入決算額 A	歳出決算額 B	差し引き (A-B)
証 紙	8,289,918	7,800,391	489,527
土 地 取 得	862	862	
母 子 寡 婦 福 祉 資 金	125,071	94,388	30,683
流 域 下 水 道	3,446,371	3,442,820	3,551
中小企業近代化資金貸付金	6,164,581	3,949,082	2,215,499
農 業 改 良 資 金	121,612	12,511	109,101
林 業 改 善 資 金	317,732	8,889	308,843
沿 岸 漁 業 改 善 資 金	157,854	56,671	101,183
公 営 競 馬	11,468,709	11,468,709	
金沢西部地区土地区画整理	1,310,922	1,272,789	38,133
育 英 資 金	413,278	400,458	12,820
公 債 管 理	120,404,051	120,404,051	
合 計	152,220,961	148,911,621	3,309,340

ひとくちメモ

特別会計

県が特定の事業を行う場合に、特定の収入をもって特定の支出に充てる事業について、一般会計の歳入歳出と区分して経理する会計をいい、本県には12の特別会計があります。例えば、大学生や高校生などの方に対して無利子の奨学金を貸与している育英資金特別会計については、その貸付に必要なお金として一般会計の負担のほか、過去に貸付けた方から返済いただくお金を充てることとしています。

なお、一般会計における実質的な借入でない借換債や償還金を明確に示し、県債管理の状況や一般会計の実質的な規模などを分かりやすくするために平成16年度から公債管理特別会計を新たに設置しました。

2 事業会計

平成16年度の5事業会計の収益的収支の歳入決算総額は259億円、歳出決算総額は261億円となりました。資本的収支の歳入決算額は82億円、歳出決算額は138億円となっています。

なお、事業会計において重要な経営指標である不良債務（実質的な資金不足）は、平成15年度末には全て解消しました。これからも、不良債務が生じることの無いよう、経営の改善を重ねていきたいと考えています。

平成16年度事業会計決算の収支

△印減（単位：千円）

会計名		歳入決算額 A	歳出決算額 B	差し引き (A-B)
中央病院事業	収益的収支	13,409,811	13,341,684	68,127
	資本的収支	1,360,714	1,817,514	△ 456,800
高松病院事業	収益的収支	3,023,775	2,871,449	152,326
	資本的収支	696,490	776,784	△ 80,294
港湾土地造成事業	収益的収支	22,343	10,424	11,919
	資本的収支			
電気事業	収益的収支	1,310,826	1,151,967	158,859
	資本的収支	347,514	1,325,309	△ 977,795
水道用水供給事業	収益的収支	8,116,811	8,730,616	△ 613,805
	資本的収支	5,843,279	9,858,122	△ 4,014,843
合計	収益的収支	25,883,566	26,106,140	△ 222,574
	資本的収支	8,247,997	13,777,729	△ 5,529,732
	計	34,131,563	39,883,869	△ 5,752,306

ひとくちメモ

事業会計

企業的色彩の強い会計をいい、本県には5つの事業会計があります。例えば、県立中央病院や高松病院といった病院事業は、高度医療部分など一般会計が負担すべき部分を除いて、受診者からの収入をもって必要な経費を賄うことを原則としています。

収益的収支

企業活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）で、収入は料金収入のほか受取利息等、支出は人件費、施設の維持管理費や減価償却費のほか支払利息等であり、損益計算書に計上される収支です。

資本的収支

収益的収支に計上されないお金の動きで、支出は施設整備、資産の取得、企業債（借入金）の返済などで、収入は企業債（長期借入金）や国庫補助金等です。

不良債務

流動負債（1年以内に支払い期限が到来するもの）の額が流動資産（1年以内に現金化が予定されている資産）の額を超える額で、資金面で当面の支払い能力を超える債務で実質的な資金不足とも呼ばれています。